



# 大樹のこころ

## SDGs の取り組み

最近よく耳にするようになった SDGs。「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称で、国連が2030年までに達成を決めた17の目標を掲げています。テレビなどでも「SDGs 週間」などと銘打って取り組みを特集していることもあり、ご覧になられた方もみえるのではないのでしょうか。

学校現場も SDGs に取り組んでいます。ここ数年「男女混合名簿」や「男女関係なく『さん付け』で名前を呼ぶ」というジェンダー的な対応も、SDGs の「5 ジェンダー平等を実現しよう」に呼応したものです。授業においても岡崎市は「チーム学習」を推進していますが、これも「4 質の高い教育をみんなに」を実現するために「一人の子も取り残さない」という理念を大切にしている取り組みです。「10 人や国の不平等をなくそう」については「子供が他者を価値ある存在として尊重し協働して生活できる」学級づくりを目指しています。

そんな SDGs の取り組みの一環として、本校では「配付物のペーパーレス化」を実施することにしました。「15 陸の豊かさを守ろう」「12 つくる責任つかう責任」などに対応した取り組みです。これまで、学校では紙を大量に消費してきました。たった1日で、これだけの量の紙が廃棄されています。少しでも無駄を削減するために、教職員間で使用する文書には裏面再利用紙を活用してきました。

それでも焼け石に水の状態です。近年、スマートフォンやタブレット端末が普及し、紙面でなくとも文書の発送ができるようになってきました。先日、保護者の皆様に「紙文書の必要調査」を行わせていただきましたが、多くのご家庭が「必要ない」と回答してくださいました。そこで、配布物のペーパーレス化に踏み切ることにいたしました。

今後文書を発送する場合、保護者の皆様にメール配信でお知らせします。その配信に文書のファイルを添付いたします。同時に学校ホームページの「学校からのおたより」にも文書ファイルを掲載していきます。発送する学校側も受け取る保護者の皆様も、今まで以上に利便性が高まると考えています。なお、全てがペーパーレスになるわけではありません。学年通信や学級通信、紙面での回答が必要なものなどにつきましては、従来通り紙文書を配付させていただきます。よろしくをお願いします。



あじさい読書週間が6月1日(水)から24日(金)まで実施されています。読書週間中の水曜日に行われるのは、担任の先生による読み聞かせ。子供たちがとても嬉しそうに聞いています。